

産学官連携イベントレポート

「広島大学新技術説明会 2010 in 広島」(H22/11/25)

広島大学産学・地域連携センターでは、平成13年度から「広島大学リエゾンフェア」と称し、地元広島
の企業等に対して大学発の研究シーズを紹介する技術説明会を行ってきました。これまで首都圏(東
京)や大阪においても毎年 JST との共催で「新技術説明会」を開催してきたことから、大学単独開催のリ
エゾンフェアについても、今年度から「広島大学新技術説明会 2010 in 広島」と名称を一新し、11月25
日(木)に広島ガーデンパレスで開催されました。

説明会は A, B の2会場に分かれ、産学・地域連携センターの澤俊行センター長と、高田忠彦副センタ
ー長の開会挨拶により、スタートしました。両氏はそれぞれスライドを使って広島大学の産学官連携の取
り組みを紹介され、今回の新技術説明会に対する期待が述べられました。



(澤センター長による開会挨拶: A会場「孔雀」) (高田副センター長による開会挨拶: B会場「白鳥」)

主催者挨拶の後、A会場では半導体、電池、情報通信、発電、材料というテーマで7名の研究者がそ
れぞれ25分の新技術の説明を行いました。また、株式会社サタケの松田技術本部穀物研究室長より産
学官連携の成果として、「水稻生育のための近接リモートセンシングシステム」についても紹介がありま
した。



(A会場の様子)

B会場では環境、エネルギー、バイオ、医療というテーマで同様に7人の研究者が説明を行った他、
産学官連携の成果として株式会社コーポレーションパールスターの新宅光男専務取締役が「転倒予防
靴下」について発表を行いました。



(説明会の様子はテレビでも放送されました)

会場外には個別技術相談会場が設けられ、各研究者のプレゼンテーションに興味をもった企業等から寄せられる技術相談などに、研究者と産学官連携コーディネーターが熱心に答えていました。

この他、総合受付横には地域社会、特に地域産業界への更なる貢献を目的に11月に発足した「広島大学産学官連携推進研究協会の」の会員受付ブースが設けられ、来場者の方への案内なども行われました。

午前10時半にスタートした新技術説明会には午後4時の閉会挨拶までに述べ424名が来場し、来場者同士も積極的に情報交換が行われているようでした。

当日の発表資料(PPT)やプログラムについては産学・地域連携センターの国際産学連携部門HPからご覧いただけます。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/9599>

また、広島大学の研究者の技術シーズについては研究データベース「ひまわり」で検索することができます。本説明会で紹介のあった研究者やその他の技術シーズについても、お気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

http://seeds.hiroshima-u.ac.jp/sangaku_renkei/techrd/

広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

E-mail:techrd@hiroshima-u.ac.jp

TEL:082-421-3631